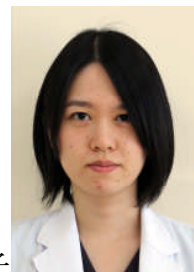


和歌山病院での研修を終えて



松山 依子

今回和歌山病院での研修を希望させて頂いたのは、将来内科系を考えており、呼吸器の **common disease** や胸腔穿刺などの内科基本手技を学びたかったからです。

和歌山病院では、研修医も主治医として患者さんを担当させてもらえるので、医師としての責任感をより実感し、患者さん本人はもちろんのこと、家族さんへの説明や退院及びその後についてのことまで考えながらやらせて頂くことができ大変勉強になりました。

また、胸腔穿刺や腰椎穿刺などの内科基本手技に加え、気管支鏡も挿入から最後までやらせて頂くことができ、貴重な経験となりました。さらに、外来では検診異常から慢性咳嗽と幅広い初診患者さんを診させて頂き、アプローチの仕方や必要な検査とその解釈、患者さんへの説明、治療方針まで丁寧に教えて頂きました。病棟では結核疑い、MAC 症や間質性肺炎など、普段あまり診ることのできない疾患の方も担当させて頂きました。とくに喀痰塗抹や培養検査、PCR 検査の解釈については臨床症状やレントゲン所見と合わせて総合的に考えないといけないことや、検査の感度・特異度をふまえた上で結果をどうとらえるべきかについて細かく教えて頂き、大変勉強になりました。

外来や病棟以外でも、胸部レントゲンの見方や心電図の見方についての講義をして頂いたり、気胸の手術を助手として入らせて頂いたり、有意義な時間を過ごせました。コメディカルの方々も大変優しく、検査部の方にはグラム染色のやり方や見方、抗酸菌染色の見方などを教えてもらったり、薬剤部の方には各吸入器の利点や欠点を踏まえたうえでどう選択していくかなどについてレクチャーして頂いたり、大変勉強になりました。

最後になりましたが、和歌山病院で学んだ知識・技術を今後の医者人生に生かせるよう努力していきたいと思います。短い間でしたが1カ月間大変お世話になりました、ありがとうございました。